

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類 信 託 期 間	追加型投信／海外／株式 無期限 (2013年5月13日設定)
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として先進国（日本を除く）の株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・参考指標は、FTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (円換算ベース) とします。(2015年5月12日現在) ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。 ・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。
主 要 運 用 対 象	主としてETF (上場投資信託) への投資を通じて、先進国 (日本を除く) の株式へ実質的に投資します。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時 (年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。) に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。



運用報告書 (全体版)

第2期

(決算日 2015年5月12日)

EXE-i 先進国株式 ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「EXE-i 先進国株式ファンド」は、2015年5月12日に第2期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

URL : <http://www.sbiam.co.jp/>

EXE-i 専用Webサイト

URL : <http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/>

EXE-i Facebookページ

URL : <https://www.facebook.com/sbiamexei/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指標		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日) 2013年5月13日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 160
1期(2014年5月12日)	11,597	0	16.0	11,728	17.9	96.0	1,356
2期(2015年5月12日)	14,602	0	25.9	14,925	27.3	99.2	3,438

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

(注3) 参考指標は2015年1月まではMSCI KOKUSAI (コクサイ)・インデックス (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

(注4) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

(注5) 参考指標は設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2014年5月12日	円 11,597	% —	11,728	% —	% 96.0
5月末	11,775	1.5	11,912	1.6	96.1
6月末	11,907	2.7	12,063	2.9	95.7
7月末	12,029	3.7	12,232	4.3	99.1
8月末	12,218	5.4	12,425	5.9	98.6
9月末	12,496	7.8	12,790	9.1	98.4
10月末	12,510	7.9	12,730	8.6	99.4
11月末	13,983	20.6	14,288	21.8	99.0
12月末	14,116	21.7	14,461	23.3	98.1
2015年1月末	13,637	17.6	13,849	18.1	98.7
2月末	14,366	23.9	14,628	24.7	98.7
3月末	14,368	23.9	14,601	24.5	99.0
4月末	14,482	24.9	14,783	26.1	99.3
(期末) 2015年5月12日	14,602	25.9	14,925	27.3	99.2

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標は2015年1月まではMSCI KOKUSAI (コクサイ)・インデックス (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

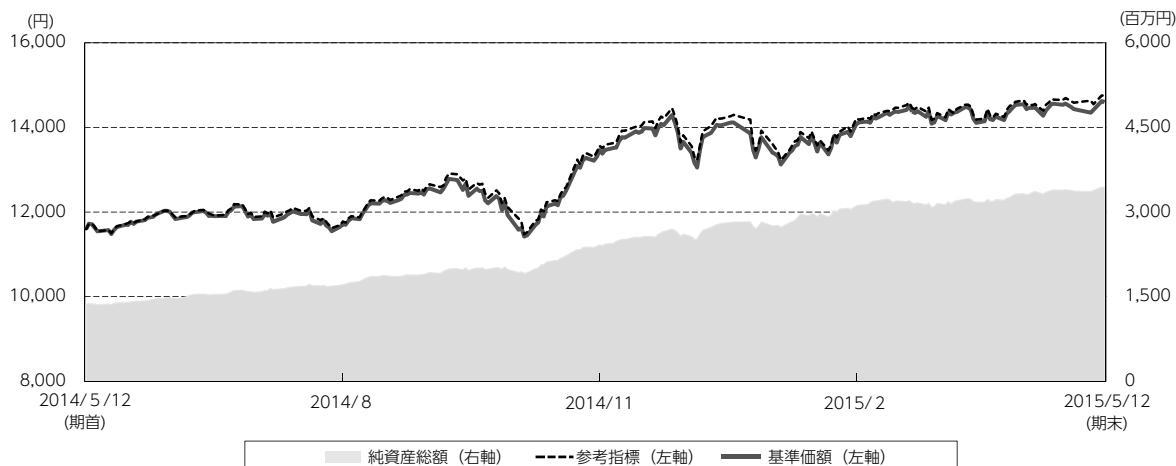
(注3) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

参考指標：「FTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス」

FTSE Kaigai (カイガイ)・インデックスとは、FTSE社が開発した指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。当ファンドでは、同指数を委託会社が円換算し参考指標としています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2014年5月13日から2015年5月12日まで）

○基準価額等の推移



期首：11,597円

期末：14,602円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 25.9%

(注1) 参考指標は2015年1月まではMSCI KOKUSAI (コクサイ)・インデックス (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2014年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

各国による緩和的な金融政策、良好な経済指標や企業決算などを受けて、先進国株式市場が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどが上昇要因となりました。

下落要因

ウクライナ情勢など地政学的リスクへの懸念や原油安に伴う先行き不透明感などを受けて、先進国株式市場が下落したことなどが下落要因となりました。

○投資環境

<先進国株式市場>

2014年5月から8月中旬にかけては、一進一退の値動きとなりました。米国では長期にわたって低金利政策が長期化するとの見方や、欧州では政策金利の引き下げや中銀預金金利のマイナス金利を好感して上昇しましたが、イラクやウクライナ情勢の悪化などが嫌気され下落しました。

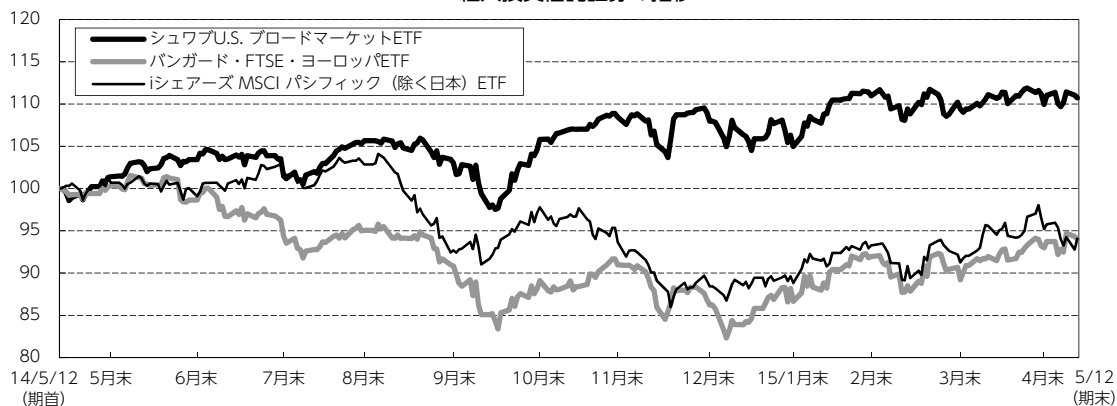
8月中旬から10月中旬にかけては、下落基調となりました。欧州での追加金融緩和が好感され上昇しましたが、スコットランド独立をめぐる不透明感から上値を抑えられる結果となりました。10月に入ると国際通貨基金 (IMF) が世界経済の見通しを下方修正したほか、エボラ出血熱の感染拡大懸念などの悪材料が重なり、大幅下落しました。

10月中旬以降、期末にかけては、概ね上昇基調となりました。米連邦公開市場委員会 (FOMC) で量的金融緩和の終了が決定されましたが、2014年7-9月期の米実質国内総生産 (GDP) 成長率 (速報値) が市場予想を上回ったことにより、米国の底堅い景気回復が意識され、上昇基調となりました。年末年始については、原油価格急落による世界経済への悪影響が意識されたほか、ギリシャの政局不安、スイスフランの対ユーロでの上限撤廃などにより、市場に動揺が広がったことから調整しましたが、欧州中央銀行 (ECB) による量的金融緩和導入を決定や、ギリシャ選挙後の警戒感が後退したことなどを好感し上昇に転じました。その後も、原油価格の反発、米連邦準備制度理事会 (FRB) による早期利上げ観測が後退したことを材料に底堅く推移しました。

<為替>

外国為替市場では、ドル/円は101円台半ばで始まり、8月のFOMC議事要旨の発表をきっかけに早期利上げ観測が強まるとドル高が加速し、10月末には日銀の追加金融緩和が実施され、12月にかけて円安が進行し、122円台まで急伸びました。その後、FRBの利上げ時期を意識しながら一進一退の展開となりました。ユーロ/円は139円台後半で始まり、10月後半にECBのドラギ総裁が追加金融緩和の可能性について言及したことなどを材料に149円台まで急伸びました。その後、欧州の景気減速懸念、ギリシャ情勢の悪化、スイスフランの対ユーロ上限撤廃などの要因が重なり、126円台まで下落しました。期末にかけてはドイツの経済指標の結果が市場予想を上回るものが相次いだほか、ギリシャ情勢への懸念が和らいだことなどから、上昇に転じ、135円台で期末を迎えました。

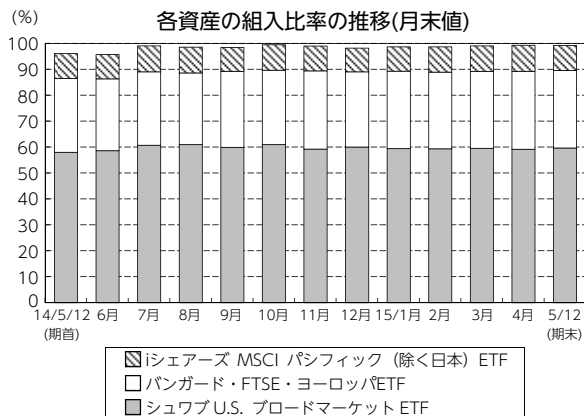
<組入投資信託証券の推移>



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 期首を100として指数化しています。

○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、先進国（日本を除く）の株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

【組入投資信託証券の資産構成比率】

	組入上位10カ国・地域	構成比率
1	アメリカ	57.96%
2	イギリス	8.59%
3	オーストラリア	6.06%
4	スイス	4.55%
5	フランス	4.33%
6	ドイツ	4.17%
7	オランダ	1.59%
8	スペイン	1.55%
9	スウェーデン	1.39%
10	イタリア	1.02%

	組入上位10業種	構成比率
1	金融	22.99%
2	ヘルスケア	12.89%
3	情報技術	12.55%
4	一般消費財・サービス	11.92%
5	資本財・サービス	10.93%
6	生活必需品	9.42%
7	エネルギー	7.26%
8	素材	5.51%
9	公共事業	3.46%
10	電気通信サービス	3.04%

	組入上位10銘柄	国	構成比率
1	アップル	アメリカ	1.90%
2	マイクロソフト	アメリカ	1.04%
3	エクソンモービル	アメリカ	0.96%
4	ネスレ	スイス	0.84%
5	ノバルティス	スイス	0.82%
6	ジョンソン&ジョンソン	アメリカ	0.72%
7	オーストラリア・コモンウェルス銀行	オーストラリア	0.71%
8	ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	0.71%
9	ロシュ・ホールディング	スイス	0.69%
10	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	0.67%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

(注1) 2015年4月30日時点の比率です。

(注2) 当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

(注3) 投資信託証券を通じて投資する株式の評価額合計に対する比率です。

【組入投資信託証券の騰落率】

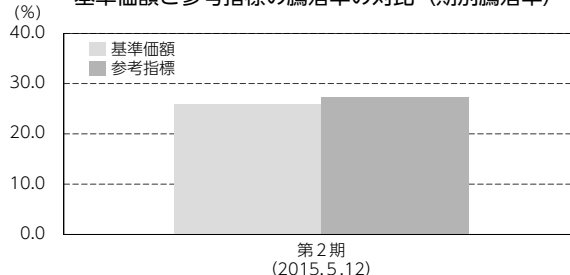
投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
シュワブU.S. ブロードマーケットETF	米国の大型株式	米ドル	10.7%
バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	欧州の大型株式	米ドル	△6.0%
iシェアーズ MSCI パシフィック（除く日本）ETF	アジア・太平洋地域（日本を除く）の大型株式	米ドル	△5.9%

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

基準価額と参考指標の騰落率の対比（期別騰落率）



(注) 参考指標はFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (円換算ベース) を使用しています。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2014年5月13日 2015年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,602

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

主としてETF(上場投資信託)への投資を通じて、先進国(日本を除く)の株式へ実質的に投資し、先進国(日本を除く)の株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

○1万口当たりの費用明細

(2014年5月13日～2015年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	33 (14) (15) (4)	0.248 (0.105) (0.110) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.034 (0.034)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用)	4 (3) (1)	0.029 (0.020) (0.009)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.311	
期中の平均基準価額は13,157円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2014年5月13日～2015年5月12日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	Schwab US Broad Market ETF	189,767	9,225	24,868	1,242
		Vanguard FTSE Europe ETF	92,704	5,134	6,632	367
		iShares MSCI Pacific Ex Japan ETF	36,377	1,706	2,094	95

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年5月13日～2015年5月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年5月12日現在)

外国投資信託証券

銘柄名	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
Schwab US Broad Market ETF	333,107	17,065	2,050,368	59.6
Vanguard FTSE Europe ETF	149,405	8,566	1,029,310	29.9
iShares MSCI Pacific Ex Japan ETF	60,116	2,772	333,121	9.7
合 計	542,628	28,404	3,412,801	99.2

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,412,801	% 97.9
コール・ローン等、その他	72,513	2.1
投資信託財産総額	3,485,314	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (3,412,925千円) の投資信託財産総額 (3,485,314千円) に対する比率は97.9%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月12日における円換算レートは、1ドル=120.15円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,485,314,528円
コール・ローン等	62,944,252
投資信託受益証券(評価額)	3,412,801,183
未 収 入 金	9,569,082
未 収 利 息	11
(B) 負 債	46,569,621
未 払 金	31,844,268
未 払 解 約 金	10,937,581
未 払 信 託 報 酬	3,679,772
そ の 他 未 払 費 用	108,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,438,744,907
元 本	2,354,921,019
次 期 繰 越 損 益 金	1,083,823,888
(D) 受 益 権 総 口 数	2,354,921,019口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	14,602円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,169,917,616円
期中追加設定元本額	2,077,735,591円
期中一部解約元本額	892,732,188円

○損益の状況 (2014年5月13日～2015年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	40,611,392円
受 取 配 当 金	51,680,333
受 取 利 息	△ 11,068,941
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	408,405,662
売 買 益	443,549,182
売 買 損	△ 35,143,520
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,586,734
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	442,430,320
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	46,617,728
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	594,775,840
(配 当 等 相 当 額)	(167,259,505)
(売 買 損 益 相 当 額)	(427,516,335)
(G) 計 (D + E + F)	1,083,823,888
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,083,823,888
追 加 信 託 差 損 益 金	594,775,840
(配 当 等 相 当 額)	(167,259,505)
(売 買 損 益 相 当 額)	(427,516,335)
分 配 準 備 積 立 金	489,048,048

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(40,015,951円)、費用控除後の有価証券等損益額(402,414,369円)、信託約款に規定する収益調整金(594,775,840円)および分配準備積立金(46,617,728円)より分配対象収益は1,083,823,888円(10,000口当たり4,602円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○約款変更のお知らせ

- ・運用報告書(全体版)について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。
- ・信託契約の解約及び変更等に係る書面決議について、要件の緩和に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権の買取請求について、規定の適用除外に伴い信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日: 2014年12月1日)

<ご参考>組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
シュワブU.S. ブロードマーケットETF	米国の大型株式	ダウジョーンズ U.S. ブロード・ ストック・マーケット・インデックス	0.04%	Charles Schwab & Co., Inc.

組入上位10銘柄	比率
Apple, Inc.	3.3%
Exxon Mobil Corp.	1.6%
Microsoft Corp.	1.6%
Johnson & Johnson	1.2%
Berkshire Hathaway, Inc., Class B	1.2%
General Electric Co.	1.1%
Wells Fargo & Co.	1.1%
The Procter & Gamble Co.	1.0%
JPMorgan Chase & Co.	1.0%
Pfizer, Inc.	0.9%

組入上位業種	比率
情報技術	19.2%
金融	17.2%
ヘルスケア	14.1%
生活必需品	13.2%
資本財・サービス	11.1%
一般消費財・サービス	8.5%
エネルギー	7.4%
素材	3.6%
公共事業	3.0%
電気通信サービス	2.1%

出所：Charles Schwab Investment Management, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年2月28日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	欧州の大型株式	FTSEディベロップド・ ヨーロッパ・インデックス	0.12%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Nestle SA	2.8%
Novartis AG	2.7%
Royal Dutch Shell plc	2.3%
Roche Holding AG	2.2%
HSBC Holdings plc	2.2%
BP plc	1.5%
Unilever plc	1.4%
Bayer AG	1.3%
Sanofi	1.3%
GlaxoSmithKline plc	1.3%

組入上位業種	比率
金融	22.6%
生活必需品	17.8%
資本財・サービス	12.4%
ヘルスケア	12.4%
素材	8.4%
オイル・ガス	7.5%
一般消費財・サービス	7.2%
電気通信サービス	4.7%
公共事業	3.9%
テクノロジー	3.1%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ジェアーズMSCI パシフィック (除く日本)ETF	アジア・太平洋地域 (日本を除く)の大型株式	MSCI パシフィック (除く日本) インデックス	0.49%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	7.27%
WESTPAC BANKING CORPORATION CORP	5.88%
AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GR	4.88%
AIA GROUP LTD.	4.79%
BHP BILLITON LTD.	4.78%
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	4.42%
WESFARMERS LTD	2.39%
CSL LTD.	2.11%
HUTCHISON WHAMPOA LTD.	1.82%
WOOLWORTHS LTD.	1.80%

組入上位業種	比率
金融	56.50%
素材	9.37%
資本財・サービス	8.69%
生活必需品	5.21%
公共事業	4.65%
一般消費財・サービス	4.56%
電気通信サービス	3.79%
ヘルスケア	3.47%
エネルギー	2.51%

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年3月31日時点の比率です。

上記の比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
上記組入投資信託証券は第2期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。